



ニュースレター あすか

2010
4月号

通算205号

2010年4月1日

2月24日の研修会講師
古沢学園 専門学校福祉
リソースカレッジ

山口 浩二先生



2月・3月は、

キャリア形成のための研修会

キャリア形成訪問指導事業が始まりました。

キャリア形成訪問指導事業とは、

だれが・・・広島県が

何のために・・・福祉・介護職場での職員のキャリアアップを支援するために

どこで・・・県内の福祉・介護サービスにかかる施設や事業所で

なにを・・・講義・演習を(職員の資質向上に必要な知識および技術に関する)

行う講師を

どのように・・・介護福祉士養成施設や職能団体等から招き、

どうする・・・講義・演習を行う事業です。

医療法人あすかでは広島県のキャリア形成訪問指導事業を活用し、2月と3月に研修会を開催しています。リーダーや指導者のためのプログラム、新人のための基礎研修、認知症ケア、ケアプランの作りかたなどについて、県内で活躍されている一流の講師の方々による研修会です。毎回多くの職員が参加し、新しい知識、技術の習得に励んでいます。福祉、介護分野で働く職員は、新しい技術、知識の習得のためにたゆまない努力をしていくことが必要です。今回の研修会の成果を、介護サービスご利用の皆様へ安全で安心できる質の高いケア、満足度の高いサービスにつなげていきたいと思えます。

理事長 高橋 勲

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

【目次】

【ページ】

1. キャリア形成訪問指導事業研修会に参加して・・・2
2. あすかグルメだより 第1回目
3. 小窓の花ことば シリーズ2・・・3
4. クレドを進めてきての感想とこれからの活動について
5. クレドの感想
6. あすか事業所だより・・・4
7. あすか事業所だより・・・5
8. おもしろきかな我が人生
～芳村 スミエさん・・・6
9. 若竹句会 2月作品抄・・・7
10. あすかスタッフに迫る！・・・8

キャリア形成訪問指導事業研修会に参加して

日時：2月10日

内容：新人を受け入れる前におさえた先輩講座

離職リスクを低減するための受け入れ態勢づくり

講師：ファシリテーター(株)代表取締役

社会福祉士 小田 明則先生

講師の最初の課題で、どんな部下がほしいかという問いに対して、私は今迄の経験で色々と言葉を書きで挙げてみました。しかし、その後の講師の話には愕然としました。それは、確かに講師が言われるように私が挙げたことはないものなだらけだったので。もし私が、銀行に入り最初にこのようなことを要求されていたら、とても難しくやっていけず、すぐに辞めていたと思います。

そしてこの介護の業界に転職して感じたことを思い出しました。先輩たちがなげなく使っていた言葉。「ストマ」、「特変」、「じょく」など申し送りの時、分からないことばかりでしたが、聞くのもはばかりられるような雰囲気でした。

この研修を受けて、改めて今、自分が聞きにくい雰囲気を出していないか、言葉の説明が足りているだろうか考えさせられました。その上で



私がやらないといけないことは講師が言われていた「気持ちよく働いてもらう環境を作ることだと実感しました。」

「能力の差は10倍、やる気の差は100倍」というJALの稲盛氏の話の肝に銘じながら、日々の仕事に活かしていきたいと思えます。

すてつぷ 小西 正文

あすかグルメ日より

シリーズ1

副院長 高橋 真弓

あすかの食事は(株)富士産業にお願いしています。それは、食材を地産地消にこだわりの、既製品や冷凍食品を出来るだけ使わないというポリシーで、おいしい食事を作ってくださいという評判だったからです。食事は人生の大きな楽しみの一つです。とりわけ、美味しいものを求めて自由に動くことが出来ない高齢者の方にとってはデイサービスや入所施設での食事がおいしいかまずいかは大問題です。私もおいしいもの大好き、グルメ情報に結構敏感です。おいしい食事を提供したいというのは私の最大の関心であり、希望です。

あすかでは1年に1回、みなさまから食事についてアンケートをいただき、おいしい食事、個々の方の状態にあった食事の提供に役立てていますが、今回から10回シリーズで、「あすかグルメ日より」として、おいしい食事、人気の食事、一押しメニューを紹介していきたいと思えます。1回目は私が担当することになりました。

私は、毎日、みなさんと同じ昼ごはんをいただいています。仕事に追われて、昼休みはいつも10分くらいしか取れませんが、「昼ごはん」がおいしいか、まずいかは私にとって大問題です。気付いたことがあつたらすぐに厨房に電話をすることにしてい



ます。(株)富士産業さんにいつもお願いしていることは、「出来るだけ、コロッケ、肉じゃがなど、食べなれたメニューを昔ながらの食材を使って作ってください」

「素材を生かしたお料理にしてください」

「デザートもあまり手を入れないで、新鮮なフルーツだったらそのまま・・・」

などです。私の一押しメニューはつぶらです。からつとあがつたエビやサツマイモ、レンコン、ピーマンなどが大根おろし、てんつゆと一緒にお盆に載っていると、とても嬉しくなります。厨房の職員にそのことを言うと、てんぶらをあげる「フライヤー」がいいからこんなにカラッとあがるのだと謙遜されますが、それでも、これだけ多くの人のてんぶらをあげようとするとは本当に大変だと思ひ、感謝をしながらこちそうになっています。

～お誕生会メニュー～

- 一、お赤飯
- 一、天ぷら
 - ・きす
 - ・さつま芋
 - ・なす
 - ・いんげん
- 一、お刺身
 - ・えび
 - ・まぐろ
 - ・かんぱち
- 一、お吸い物
- 一、ゆずゼリー

小窓の花ことば シリーズ

リハビリトレーナーの「問はず語り」

小窓の花瓶の敬翁桜けいおうの桜が満開になっています。

ある朝、Gさんが折りたたんだ白い紙を照れくさそうに差し出しました。

「あら、ラブレターかしら?!」と笑いながら受け取りました。

折りたたんだ紙を見開くと美しい字で清書された俳句が書かれていました。

窓辺花 心やすらぐ リハ楽し

後日、奥様が清書してくれたとGさんは嬉しそうに話されました。

Gさんがリハビリを始められてから今日で500回です。

リハビリを続けることは簡単なようで実は難しいものです。何しろリハビリは地味で面白くないからすぐ飽きてしまします。

Gさんは小窓の花を愛でリハビリを楽しみに変えられておられます。

この句にはその喜びが素直に込められています。

さあ、500回突破記念の表彰状を贈って励ませよう。

敬翁桜

しゆりあちよーく
リハビリトレーナー

高柿 美恵



12月10日「クレド活動」がキックオフしてから2カ月が経ちました。すべての職員が「クレド」を自分のものにしていくための道のりが続いています。クレドを作成したクレド委員のキックオフの時の感想と意気込みを掲載しました。

クレドを進めてきての感想とこれからの活動について

ショートステイいわやリーダー 河野 修

最初にこの「クレド」という言葉を聞いたときは???だった。回を重ねるにつれクレドの目的や組織での有効性、組織の活カにつながる、きもちのよい風土、環境を構築していく「行動」なのだと十分な理解をした。人間として人として、当たり前のことなのだが中々できないことも実感している。だが、クレド委員に選ばれクレドに対する意欲、意識は持つようになってきた。

いわやではサンクスカード、業務改善案、グッドジョブカードの定着ができてきている。特にサンクスカードは驚くほど記入しているのが現状である。サンクスカードをもらった方がその相手のいい所を見つけ出し記載するなど、よい雰囲気、風土が築かれ始めた。だが、一定の職員であり全職員までの定着は現在では、浸透していない。全体として意識が高まってきていることを実感している。

いわやでのクレド活動を具体的にどう行っていくか。

タイムカードの所に鏡を置き、仕事に入る前の笑顔をチェックする。

引き続きサンクスカードをCS委員が先頭に記載していく。サンクスカードを月2回のミーティングで、毎回読み上げる。褒められることは恥ずかしいが、最終的には、嬉しいものである。(誰が、誰へは抜きとして)

全職員にサンクスカードを記載できるよう指導していく。(記載していない職員へ)

チームワークで業務をしている中、職員間で誰に対しても語尾に「ありがとう」をつける運動をしていく。

事業所ミーティングを有効活用し、クレド活動の進捗状況も把握していく。

クレドの感想

事務リーダー 中井祐子

私はクレド委員に選ばれ、改めて「ホスピタリティー」について真剣に取り組む機会を得ました。

東京で開催された林田先生の講演会「会社&自分ブランドを創る!CSホスピタリティー」のセミナーに参加しました。サービスの奥深さについて改めて考え、いい刺激になりました。

自分が、レストランやショップで受ける対応について気になるようになったのが、一番大きな変化です。自分が思っている以上のサービスを受けたときは、ホスピタリティーがある対応だなと感じられるようになりました。また、ホテルで働いている人、百貨店の受付の人、スチュワーデスなどの髪型や立ち振る舞いも、いつもならあまり気にならないところをつい見えてしまうようになりました。

クレドはひとまず完成しましたが、これからこの33項目の行動規範をどのように浸透、展開していくのがまた課題です。自分に何が出来のらうか?どうやったらうまくいくんだらうか?不安でいっぱいです。

全ての患者様が満足していただける応対を目指して、自分の出来ることを精一杯やっていきたいと思っています。また、自分ブランドを早く身に付けることができるようがんばります。

節分

2月のイベントの中心は「節分」です。節分には、豆をまいて悪疫退散や招福の行事が行われます。いろいろな事業所で、さまざまな節分行事が行われました。各事業所で工夫をこらした節分行事、それぞれに気合が入った節分を楽しめました。今年も「鬼は外、福はうち」の一年でありたいですね。

シヨートみどりい

2/3



少し頼りない
青鬼と赤鬼

2月3日 節分の日には、「シヨートステイみどりい」に赤鬼と青鬼がやってきました。

赤鬼と青鬼、少しほっそりして、ちよっとたよりなげです。こんな鬼たちを退治するのは朝飯前とばかり、みんなで鬼をめぐって思いっきり豆ならぬ玉を投げつけました。鬼は一目散



鬼なんて怖くない

に退散、鬼退治したみなさんの顔は満足感でいっぱいでした。豆のかわりの玉子ポロ口を年の数(?)だけいただきます。今日の昼食は巻き寿司。恵方「西南西」に向かって、ほおばり、みんなで今年1年の健康を祈りました。

まやるちよーく

かるやんちよーく

2/3



鬼は～外！福は～内！



神主様に手を合わせて

今年の節分はドラマ仕立てで楽しみました。親分鬼が子分2人を引き連れて登場。昨年は退治されたけど今年こそは勝つぞ！と金棒を振り回してご利用者様へ向かって行ったが、四方八方から豆が飛んでくること飛んでくること・・・今年もやっぱり退治されてしまいました。その豆ですが・・・「この豆おいしいね。」「豆好きなんよ。」「と、ひそひそ話があちらこちらから(笑)鬼に投げる豆をポロポロ、むしゃむしゃと食べられる方も。まやる神社から神主が来られ、今年一年の無病息災を全員でお祈りました。

シヨートいわや

2/3



豆まきの後はこられた手作り羊羹を食べ、一年の無病息災をお願いしました。

2月3日、手作りお面での「節分」を行いました。皆様には自分で色を塗って頂いた、色とりどりの鬼のお面をつけて頂き、豆の代わりに紙を丸めて作った球を投げて頂きました。皆様、鬼に扮した職員めがけて「鬼は外！福は内！」と力一杯に次から次へと鬼に向かって球を投げつけ、会場は、大きな歓声に包まれました。みなさまの表情は笑顔いっぱい。ちなみにこの鬼のパンツ、職員が手編みで作りました。皆様から「時間がかったじゃろー」、「鬼の感じがよく出ていますよ。」と大好評でした。

節分ゲーム大会

しゅりあちよーく

野ばら

2/4

◀ 三輪車に乗った赤鬼に玉を投げて！

2月4日、しゅりあちよーく・野ばらでは、節分ゲーム大会を行いました。

まず最初に、赤チーム、青チームに分かれ「鬼倒しゲーム」各チームの代表者が、鬼のピンをボールで投げ倒し、たくさん倒れたチームの勝利です。「がんばれ、がんばれ」応援の熱い声に両チーム、高得点！

次は「福引き」を皆様に引いていただき、福を引いた方には思い出の「質問タイム」。「初恋は!?」「初キッスは!?」との質問に(笑)照れながらも、答えてくださいました。



最後に職員扮する、赤鬼・青鬼が三輪車に乗って登場。相手の三輪車のかごに、たくさん玉を入れたチームの勝ちです。「鬼は外!福は内!」と叫びながら鬼に向かって投げ、逃げる鬼にあちこちから笑い声が聞こえてきました。接戦の結果、赤チームの勝ちでしたが、両チームでパンザイをしました。

2/20-21 毘沙門天の初寅祭

つごいの家

緑井の毘沙門天(仏法を守る四天王で北方の守護神、七福神の多聞天)では、毎年、旧暦・初寅の日とその前夜を年に1回の「御本尊」の御開帳にあて、初寅祭と称したお祭りが催されます。

宮島さん、えべっさんに次ぐ広島の三大祭で、厄除け、商売繁盛、家内安全を祈願して、多くの人が参拝されます。(特に商売人は、商売終了後に夜を徹して。)

今年は2月20日(土)、21日(日)に行なわれました。好天に恵まれ、いつもより多くの人出で賑わっていました。本堂に着くまでの道には、たくさん露店が所狭しと軒を連ねていました。

「つごいの家」では、ご利用者様全員が出かけました。本堂と多宝塔を遥かに望み、今年一年の健康と幸せをお祈りしました。

何といっても一番の楽しみは、目移りせんばかりの露店の数々とお祭りの雰囲気。「美味しい匂いがあるね」、「楽しいね」と、想いおもいの買い物をして祭りを十分に堪能して、余韻を残しながら帰路に着きました。



それぞれの願いを!



タイ焼きが一番!

まやるちよーく

よしむら
芳村

すみえ
スミエさん



おもしろきかな我が人生



**「寂しさを乗り越えて
今は幸せです」**

昭和3年3月30日(82歳)

・お住まい...安佐南区八木

・好きな食べ物...太刀魚のお刺身

・趣味...手芸(木目込み人形作り等)

▶ 広島電鉄入社当時、先輩車掌さんと一緒に(左が芳村様)



大好きだったお父さんの膝の上

高田郡志屋村志路(現在：白木町)に8人兄弟の2番目に次女として生まれました。昔は白木つてとつても田舎でした。お父さんは山師の仕事をしてきたからほとんど家には居なくてね。仕事一筋の人。あまり口数の多い人ではなかったけれど、私はお父さんが大好きだったの。私がまだ小さかった頃、お酒を飲みながらお父さんは、私を膝に座わらせて「スミちゃん、大きくなる薬だよ(笑)」と、私のおでこにちよこんとお酒を付けてくれるの。私はそれが大好きだったわ。母は一言で言うて厳しい。留守がちな父と母の二役をこなさないといけなかったからね。働き者で百姓ばかりしていたから、私もよく手伝いはしていましたよ。それが当たり前だったから辛いとか、嫌だと思っただ事は一度もないわね。畑仕事があまりできない冬には、父が山で炭を焼き、母はすみごも(炭籠のこと)を作ったり草鞋(わらじ)を編んだりしてね、私も藁を叩いて漬したり色々していました。本当に懐かしいですねー。

女車掌の誕生

14歳で尋常高等学校を卒業して、母と百姓をしていました。忙しいながらも野菜を育てて収穫するのは生活そのものだったので、大変だと思っただ事は一度もないですね。毎日毎日一生懸命でした。

その年の秋の事です。突然、吉田職業安定所の職員さんが家にやって来てね、「今は戦争中で男の人は戦争に行っているんだから、あなたも外に出て働きなさい！」と言われてね...。広島電鉄を紹介されて、車掌として働く事になったんです。近所のお友達と一緒にたから少しは良かったんだけどね。私は(皆実町)に住む親せきの家に下宿する事になってね。その頃、姉が専売公社(現在：JTC)に勤めていて、私より先にそこに下宿していたの。だから一緒に住めるようになったことはとても嬉しかったわね。最初の4カ

月間は研修期間で、先輩の車掌さんはとてもとっても優しい人。本当によく怒られました。電車の中では運転手さんに伝わらない大きな声で駅名を言わないといけなくて、乗車した人にどんどん切符を切らなさいといけなくて。切符を切るの間に合わずに、電車を降りる時に現金を払って降りるお客さんが多かったらもう大変！泣くこともよくありました...。それでも1年間は無我夢中でたくさん仕事を覚えましたね。そしたらなんと、1年後に無遅刻無欠勤でまじめに勤務した、と認められて表彰されたんです。本当に本当に嬉しかったですねー。

主人との出会い

主人はね、広島電鉄の運転手だったの。15歳年上で優しい人。仕事の悩みを相談しているうちにだんだんとね(照れ笑い)。1週間ごとに勤務表が出ると、二人が同じ電車に乗れるように、他の車掌さんに代わってもらったりしてね。同じ電車に乗っているだけでちよつと嬉しい気分だね、仕事も張り切ってできたもんよ(照れ笑い)。

主人は一度戦争に行っちゃって来ていたの。だからもう招集はないだろうと、結婚する事になったのよ。私が18歳の時。結婚したら同じ職場にいられないから、私は専業主婦になったのよ。でもね、結婚して8ヶ月が過ぎて主人に赤紙がきてね...。佐世保に行つたの。もつびつくりして悲しくて。その時お腹には赤ちゃんがいたから...。主人の兄夫婦と一緒に会いに行つただけどほんの少ししか会えなくてね。とっても悲しかったけれど実家の父が、「帰ってこい。こっちで子供を産みなさい。」と言ってくれてね、実家に帰って長男を産んだのよ。主人が戦争に行っている間も広島電鉄からは基本給と

家族手当が支給されてね、本当にありがたかったですよ。長男が産まれて10ヶ月、ようやく主人は帰って来ました。それから広島電鉄の社宅へ移りました。そのときがそれまで一番安心した時だったかもかもしれませんね。

まやるちよーくへ

今までたくさんのお事がありました。年を取ってからは主人と二人で、グランドゴルフ・カラオケ・散歩...のんびり生活していました。でも5年前に主人が92歳で亡くなつてね。

突然の事でやっぱりショックでした。そのころから私も体調を崩す事が多くなつてね。近所の主治医の先生がね、今のままじゃあいけないよ。元気をだしなさい。気分を変えてデイサービスでも行ってたら...。と、きつかけを作つて下さつたのよ。数か所の施設を見学したけど「まやるちよーく」に決めたの！決め手は職員さん。雰囲気も落ち着いていたからかしらね(若い職員さんが少なかつたから)(笑)。通い始めて1年半が過ぎたけど、とっても元気になりました。最近ハッピーハッピーにも挑戦しています。そしてイベントが好き。“誕生会”が大好き。私もたくさんの人にお祝いしてもらつて嬉しかったし、お祝いしてあげたいと思つたのよ。週2回のデイサービスに行く日がとても楽しみ。これからもたくさん楽しい事を企画してくださいね。

芳村様の明るく前向きな姿勢には頭が下がります。気持ちでいっぱいです。リハビリ・イベント・誕生会、これからもまやるちよーく職員一同頑張ります。楽しい時を一緒に過ごしていけたらと思います。宜しくお願いします。

まやるちよーく 山崎 章子



若竹句会二月作品抄

信廣高陽 選 (平成二十二年)

初夢や なかなか見えぬ なすびなり

河野 一枝

〔寸評〕正月元旦から二日にかけて夜見る夢を初夢といい、その夢によつて一年の運勢を占うことが多い。「富士鷹三茄子」が吉夢の代表とされていますが、この句のとおりになかなか三番目の茄子すら見ることがありません。吉夢を見るための作法として宝船の絵を枕の下に敷いて寝る風習があります。来年こそ朗報をお待ちしています。

初日の出 いつもと違う 蔵(おじそ)かぞ

河野 一枝

〔寸評〕元旦の日の出である。初日を拝むために、海辺や高地へわざわざ出かけることもありますが、この句のように日常と何ら変わらない生活の中で初日の出を拝むことも多いのではないのでしょうか。季語集をみても、木に草に麦に先ず見る初日かな来山(山)のようにいつも見ているものでも、いつもとは違う淑気を感じて一句に仕立てることはすばらしいことです。

初曆 あるじめぐりて ニッリと

鍛冶 久子

〔寸評〕原句では、中七が「主人めぐりて」となっておりますが、俳句では「夫」と書いて「つま」と読ませる便法があります。また「主人」では家来の句になってしまふ。それではあるじと書いたらどうだろう。いわくいいがたい味が出るという説がありますので、採用してみました。

福笑い 右と左で 大笑い

鍛冶 久子



〔寸評〕「福笑い」は正月の遊びの一つ。目かくしをして、おかめなど顔の輪郭だけを書いた紙の上に眉・目・口をかたどった紙を置き、出来上がりのおかしさを楽しむものです。近頃は、テレビの新春娯楽番組などでも観客を笑わせています。

綿帽子 割れ目の奥から 福寿草

熊本ハツエ

〔寸評〕「綿帽子」は樹木などに積もった雪、綿帽子雪のことです。福寿草は、元旦草ともいわれ、その名もつ縁起の良さと、花の美しい寒気に咲くあたたい黄金色の花が珍重されて正月の床飾りとして用いられます。降り続く雪の重みで綿帽子雪が崩れ、割れ目の奥に黄金色の福寿草を発見したという写生的、黄と白のとり合わせが利いています。

記憶より 小さき田舎 牡丹雪

小西 春良

〔寸評〕久し振りに生まれ故郷に帰ったときの感慨は同感です。大きい小さいは比較論ですから、いつまでも変わることはない田舎の風景は、身長や視野などの変化により、もつ少し広がったはずだがと感ずるのではないのでしょうか。「小さき田舎」に季語の「牡丹雪」はびつたりです。

曾孫(ひいまこ)の 手を引きながら 初詣

常広 信枝

〔寸評〕元旦の朝早く鎮守の杜へ詣でることを「初詣」といいますが、この句はすっかり夜が明けてから家族連れで参詣されたのでしよう。手を引きながら「に作者曾祖母の笑顔が浮かんできます。

一年の 計元旦に ありといふ

西 富枝

〔寸評〕一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり、「一日の計画は朝のうちにたてるべきであり一年中の計画は一年の初めの元旦の朝に決めるべきだ」ということのとえを下五に、「といふ」の三語をつけて一句にしたものです。

遠来の 曾孫(ひいまこ)困んで 初笑(はつわらい)

中谷 明子

〔寸評〕古来、一年のことは元旦から始まり、元旦をにこやかに過ごすことが、その一年間を同様に過ごすその前兆になると言われ笑つといふことは大層めでたいことで良いこととされています。この句親子三代が勢揃いされたお正月。主役はもちろん遠来の曾孫。立っても転んでも笑いの渦を巻き起こす笑初の立役者です。今年はずつといふことがありそう。

安芸の国 大雪積もりて 初景色

中谷 明子

〔寸評〕一月十四日の雪景色ですね。安芸の国にとっては正しく大雪でした。「初景色」は、元旦の瑞気に満ちた四辺の風景をいい、新年の季語です。

三日目の てんこ悲しや お正月

道普 宅真

〔寸評〕「てんこ」はよもぎ餅のことの由。好物のよもぎ餅とはいえ、三日も続くといささか…と悲鳴をあげての一句とみたら。お正月の料理のことを俳句では「喰積」といふ次のような名句があります。

喰積にあいその箸やすくに置く

加賀

独り立つ 成人の日の 背広かな

道普 宅真

〔寸評〕成人の日の祝福と、その日にふさわしい晴れ着(背広)をまとった大人の独り立ちの意気込みを詠った一句と思います。原句「成人の日一人立ちめざして気がしまる」は二十文字で字余りです。「めざして気がしまる」は「背広着て」で本人の意気込みを表してみました。

選者 吟

寒鴉(がらす) スキップ踏んで 降り立ちぬ

信廣 高陽

(注)「スキップ」は片足ずつ交互に軽く飛び跳ねながら行くこと。(広辞苑より)

あすかスタッフに迫る!

野の花

音楽療法士

介護職員

藤本 希美香さん



Q. あすかに入社して何年ですか? 入社のかっけは?

A. 4月で丸2年になります。

短期大学で音楽療法などの勉強をしていたので、音楽療法を取り入れられていた、あすかでなら自分が勉強したことが活かせるのではと思い入社しました。

Q. どんな仕事をしていますか?

A. 今は主に音楽プログラムを担当しています。

四季折々の歌、ご利用様がさりげなく口ずさんでいらっしゃる歌を取り入れながら、ご利用様と一緒に歌っています。「懐かしいね～。あの時代はこうだったよ。」とご利用様に様々な事を教えて頂き、勉強させて頂いています。

Q. 仕事をする上で心がけている事は何ですか?

A. ご利用者様に笑顔で接することです。

ご利用者に「楽しかった。」「来てよかった。」と思って頂けるよう、努力しています。そばにいつも寄り添って頼りにしていただける職員になりたいと思います。また、音楽だけでなく、介護においても一生懸命がんばっていきたくです。

Q. 最近ハマっていること、趣味は何ですか?

A. 趣味は音楽で、聴くのも演奏するのも好きです。

また、舞台鑑賞も好きで、ミュージカルなどを観に行くこともあります。



野の花リーダーより

ご利用者様から「音楽の先生」と呼ばれ、皆様音楽の時間を楽しみにしておられます。音楽のプログラム中や、おやつの時間にピアノを弾いている姿を見ると素敵なスタッフです。ピアノに向かう姿で何事にも頑張してほしいと思います。

インタビュー 柳光 知美

3S

Specialist (専門家)

~ 医療法人あすかの理念 ~

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

当法人は ISO9001 の認証施設です



Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

今月のイベントは、節分を各事業所が工夫をこらして行いました。「鬼は、そと〜! 福はうち〜!」ご利用者様の元にも福がきて、沢山いい事がありますように。また、皆様にとって医療法人あすかが心地よい癒される場所でありませうように。

毘沙門クリニック
ショートステイ いわや
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門台東1丁目24・16
デイサービスセンター しゅりあちよーく
デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちよーく
デイサービスセンター かるやんちよーく
通所リハビリテーション すてつぷ
ショートステイ みどりい
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25

あすか福祉用具貸与事業所
あすか病児保育室

あすか居宅介護支援事業所
082・830・5177
緑井3丁目20・1・103

高齢者の在宅療養を支援します